

電子契約サービス「リーテックス」(34%)、「紙と電子化は半々くデジタル契約」を展開するリーライ(27%)と合わせて84%にテックス(東京都新宿区、小倉隆志社長)がゼネコン営業担当者を対象に実施した調査で、8割以上が発注者との契約を紙媒体で実施していることが分かった。9割超

## 8割超が依然として紙媒体

が紙媒体での契約に課題を感じていることも明らかになった。インターネット調査で、304人から回答を得た。調査は8月15日に行った。

紙での契約や請求で課題に感じる点は、「施主との建設請負契約」(31%)、「JV組成時のゼネコン間の契約」(22%)、「協力会社との契約」(18%)、「建設現場作業員との雇用契約」(9%)が続いている。契約書作成に必要な平均期間は

### リーテックス調べ 発注者との契約で

「6〜7日未満」(28%)、「2〜5日未満」(25%)、「8〜10日未満」(20%)の順に多かった。最も大変もしくは大変と思われる作業では、「記載事項の確認や修正」(29%)、「書類の管理や持ち運び」(25%)が多かった。紙媒体での契約で、約7割がクレームやトラブルを経験している状況も明らかになった。

電子契約で印紙が節税できることへの認知度は、84%が「知っている」と回答した。同社は「紙媒体での契約に課題を感じている一方、電子契約サービスはほとんど利用できていない。課題もあるが、それ以上に電子契約を導入する利点の方が大きいのではないかと指摘している。